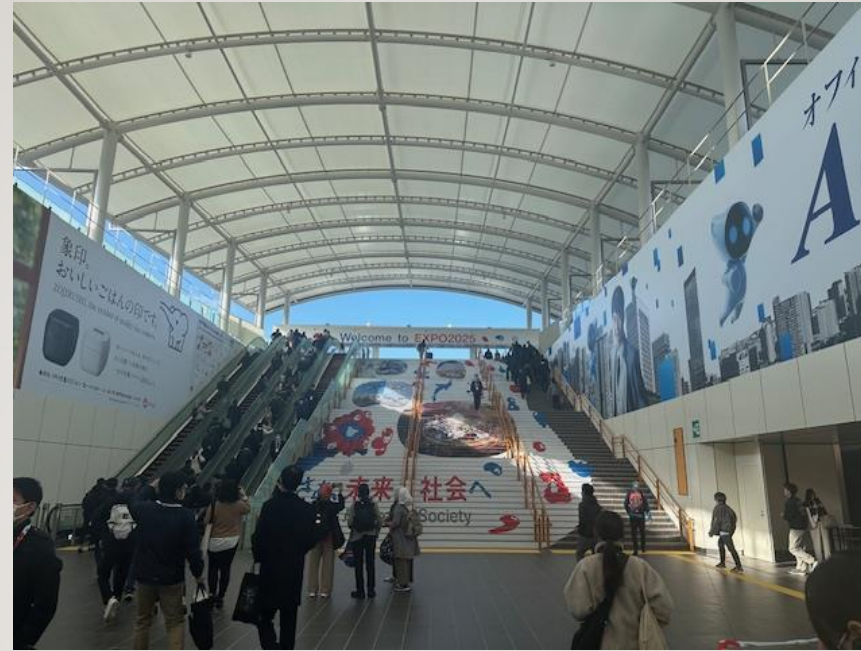


2025年日本国際博覧会 万博テストラン参加報告

2025年4月4日（金）

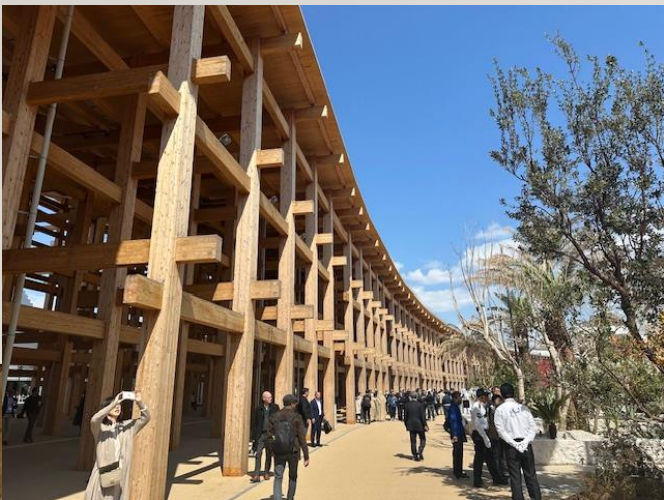
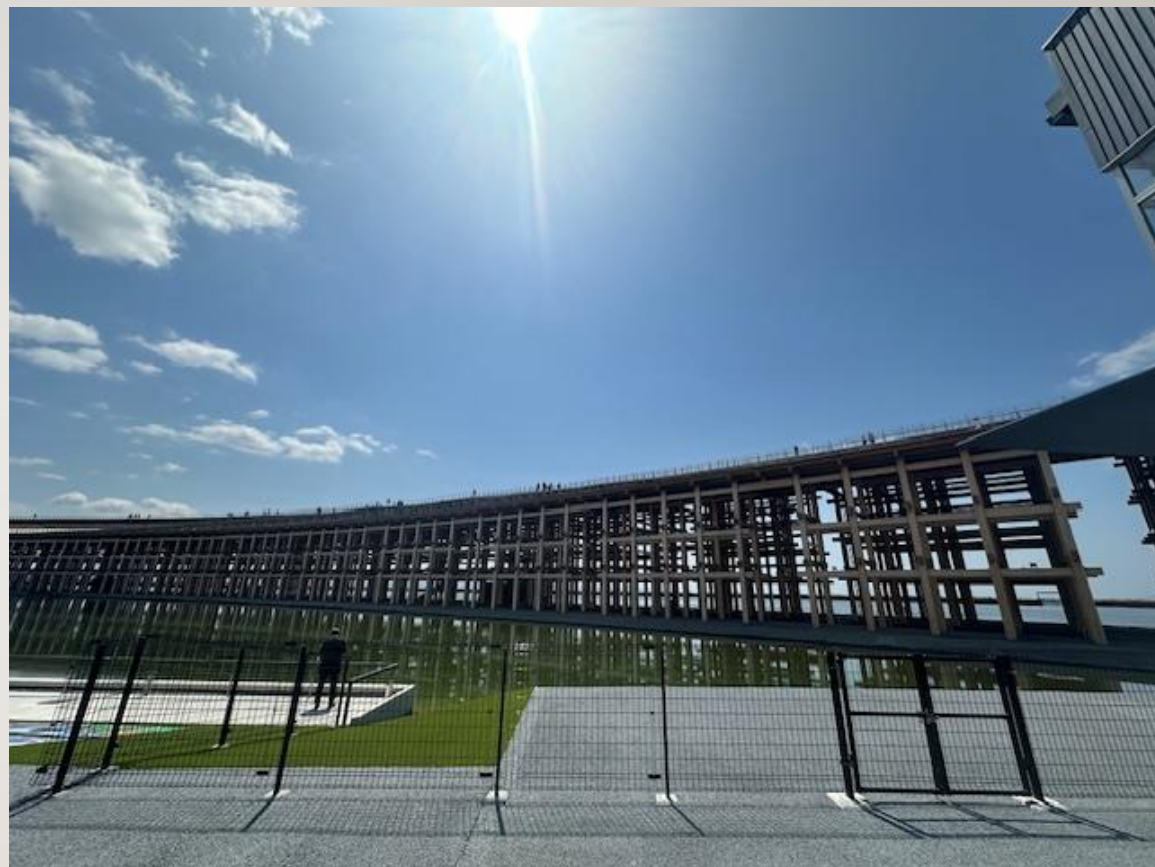
株式会社クリーク・アンド・リバー社
（万博首長連合/包括連携協定締結企業）



【テストラン概要】
2025年4月4日（金）
万博テストラン初日
参加者：関係者
場所：大阪夢洲
参加者数：約4000人

新駅「夢洲駅」は万博ムード一色。
テストラン初日ということもあり、運営側も参加側も
緊張感が漂っておりました。
※大阪メトロ中央線：夢洲駅





大屋根リング 世界最大の木造建造物 全長2 km (世界ギネス登録)

百間は一見に如かず。
入場してすぐ目の前に広がる木造の大屋根リングは圧巻。
リング下は風が抜けて夏場でも涼しそう。
リング上は2段階の回廊になっており、
万博会場全体を見渡すことが可能です。

テーマプロデューサー河森正治（アニメーション監督）パビリオン テーマ：「いのちを育む冒険」/パビリオン名「いのちめぐる冒険」

予約の都合上、すべてのコンテンツは体験はできませんでしたが今回は「超時空シアター」のアトラクションに参加。
「今ここに共にいきる奇跡」という、はかなくて尊い壮大な物語のもと、VRゴーグルを使って参加者がイマーシブ空間で
共にある奇跡を感じながら同時にコンテンツ内での共創体験を通して「いのち」の奇跡に改めて感謝。



テーマプロデューサー中島さち子（数学者・ピアニスト）パビリオン テーマ：「いのちを高める」/パビリオン名「いのちの遊び場 クラゲ館」

「生きている！」という感覚を呼び起こすパビリオン。パビリオン内の至る所にある仕掛けがまさに「いのちの遊び場」を表現。撮影は不可でしたが、360度スクリーンシアターでは参加者も一緒に協奏する仕掛けで、いのちの躍動感を感じずにはいられない仕掛けに世界と「いのちの繋がり」を感じました。



テーマプロデューサー中島さち子氏と。
グランドピアノには全国の子供たちが描いた
クラゲの絵がプリントされていました。



会場内キッチンカーで販売されていた、
アニメとコラボのチキン。



「PASONA NATUREVERSE」

(パソナ ネイチャーバース)



プロローグから感動的で、すでに
ネイチャーバースの世界へと没入



館内のショーでは、四角キューブ状の
モニターが前後左右上下伸縮しながら
立体的に映像とストーリーを展開



細胞から培養されたIPS細胞を展示
実用化にはまだ数十年とかかるとのことですが、
最新テクノロジーの世界を目の当たりにできます。



最新テクノロジーのベッド。体の健康を創り
未来の眠りを提案する。販売、実用化は
これからですが、ウェルビーイングな世界
に期待が高まります。



過去、現在、未来を
表現したモニュメント。

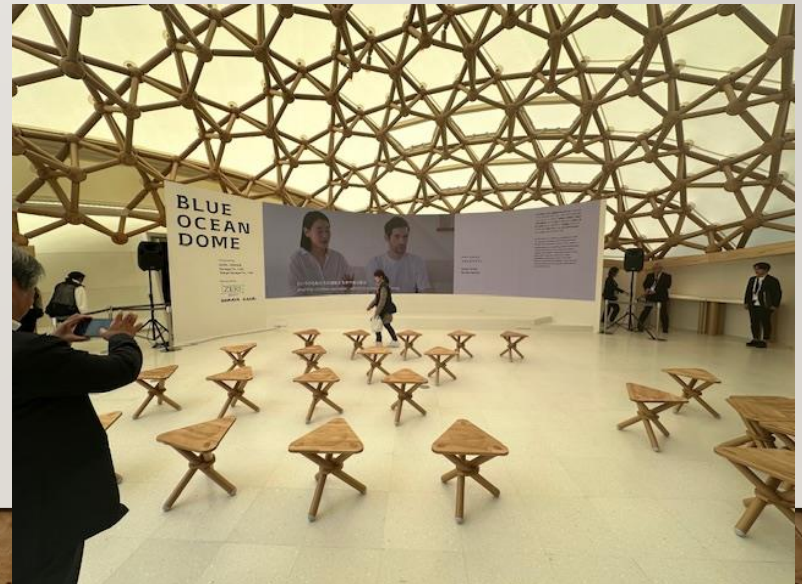


医療の最新テクノロジー

「BLUE OCEAN DOME」 (特定非営利活動法人ゼリ・ジャパン)



テーマは「海の蘇生」
異なる3つの素材からできたドーム型パビリオン。今回時間の都合で内覧はできませんでしたが、ドームBには超高精細、巨大球体スクリーンで大迫力のフルCG映像が見られるようです。



飯田グループ×大阪公立大学 共同出展館」
(飯田グループホールディングス)



ウェルネススマートシティ ジオラマ

その他のパビリオンなど

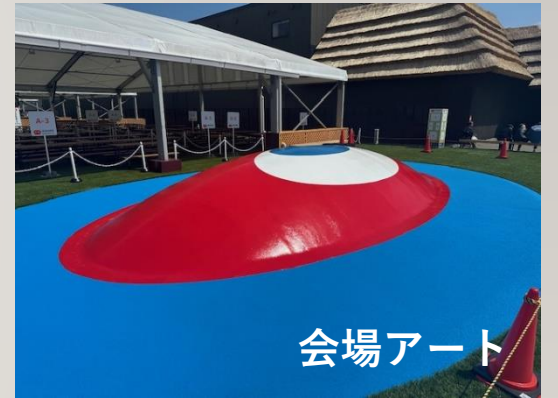
「GUNDAM NEXT FUTURE PAVILION」
(バンダイナムコHD)



車椅子で作られた開場アート作品



総工費2億円の会場トイレ



会場アート

落合陽一プロデューサー
「Null²」パビリオン



その他のパビリオンなど

日本館



ウーマンズパビリオン
(ドバイ博の日本館の一部を移設)



参加国の展示スペース



テストラン参加を終えて

皆さん、万博へ行きましょう！

大屋根リング上から



大屋根リング下から



【最後に】

万博については様々なニュースが流れておりましたが、この度の万博テストランへ参加し改めて「万博」が日本で開催される喜びと共に、世界の参加国が大阪夢洲に集まり、その魅力を国内外へ力強く発信されていくと確信しました。2025年大阪・関西万博のテーマが「いのちがやく未来社会のデザイン」とあります。世界情勢や環境問題など今この瞬間にも起こっている憂うべきことはたくさんありますが、この万博が契機となり今以上に世界規模で地球の未来を考えていくことなることを期待しています。1970年開催の万博で披露された当時の最新テクノロジーは55年たった今、一部は実用化され進化もしてきました。今回の万博で様々な主体者から提案される「未来社会のデザイン」は、各々が「地球との共存共栄」を考えたアウトプットだと考えます。これらは決して特定の人にもみ届けるメッセージではなく、長きに渡り地球の恵みを享受してきた私たち自身が、これから地球と共に次世代へ残していくべきものを「我が事」として真剣に考えるきっかけにもなろうと思います。

私どもC&Rグループは、37社のグループ企業で18分野にわたり約40万人のプロフェッショナルネットワークを有しています。業界も専門性も能力も異なるプロフェッショナルの「叡智」を組み合わせ、地域や日本、そして世界の多様な社会課題に対し地道に取り組んでいくことが「地球規模の共存共栄」の一部を主体者としても担っていくことになるかと信じております。

最後に、日本国際博覧会協会をはじめ万博に関わる関係各位の皆様、これまでの多大なるご尽力に心より敬意を申し上げますと共に、万博が無事開幕を迎え、半年後には成功裏に収まりますよう引き続き皆様で力を合わせ導いていただければ幸いです。

株式会社クリーク・アンド・リバー社
代表取締役会長 井川幸広
代表取締役社長 黒崎 淳